

テーマ	J. 現代社会を知る・考える
制度種別	単位互換/京カレッジ
科目コード	J001
科目名	インターネットと人権
略科目名	インターネットと人権
英文科目名	Internet and Human Rights
大学名	京都府立大学
連絡先	学務課 教務担当 TEL: 075-703-5118 FAX: 075-701-2474
担当教員	京都府立大学 生命環境学部環境・情報科学科 教授 吉富 康成 ほか
履修対象大学	201:池坊短期大学 202:大阪医科大学 204:大谷大学 205:大谷大学短期大学部 206:華頂短期大学 207:京都大学 208:京都外国語大学 209:京都外国語短期大学 210:京都学園大学 211:京都教育大学 212:京都経済短期大学 213:京都光華女子大学 214:京都光華女子大学短期大学部 215:京都工芸繊維大学 216:京都嵯峨芸術大学 217:京都嵯峨芸術大学短期大学部 218:京都産業大学 219:京都女子大学 221:京都市立芸術大学 222:京都精華大学 223:京都西山短期大学 224:京都造形芸術大学 225:京都橘大学 226:成美大学短期大学部 227:京都ノートルダム女子大学 228:京都府立大学

	229: 京都府立医科大学 230: 京都文教大学 231: 京都文教短期大学 232: 京都薬科大学 233: 種智院大学 234: 成安造形大学 235: 京都聖母女学院短期大学 236: 同志社大学 237: 同志社女子大学 238: 花園大学 239: 佛教大学 240: 平安女学院大学 241: 平安女学院大学短期大学部 242: 明治国際医療大学 243: 立命館大学 244: 龍谷大学 245: 龍谷大学短期大学部 246: 早稲田大学 247: 昭和女子大学 249: 京都華頂大学 250: 京都美術工芸大学 700: 大学コンソーシアム京都 703: 成美大学
開講期間	2015年09月29日(火)～2016年1月19日(火) 6講時 18時10分～19時40分(毎週火曜日)
単位数	2
開講区分	後期
対象年次	1回生以上
会場	キャンパスプラザ京都 (対面授業)
受講料 (単位互換履修生は不要)	67,600円 (入学検査料9,800円、入学料28,200円、授業料29,600円)
授業定員	90人 (うち単位互換学生定員70人、社会人定員20人)
試験・評価方法	出席 (3点満点×15回)、レポート (第15回に課題を提示) (55点満点)
超過時の選考方法	書類選考
講義概要・到達目標	<講義概要>

	<p>インターネットは情報革命とグローバル化をもたらし、すでに社会基盤の1つとなっている。経済活動や生活などの利便性向上という点で、インターネットの功績は非常に大きい。その反面、人権の尊重や防犯の点では、インターネットは新たな問題を引き起している。</p> <p>本講義では、インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について、心理、法律、教育、実状、対策などの観点から論述する。現状を俯瞰するため、京都府消費生活安全センター 啓発・教育担当 消費生活相談員 三室久枝 氏、および、京都府警察本部サイバー犯罪対策課、京都府教育委員会、から講師をお招きして、各分野の状況と対策をご講演いただく。そして、社会問題となっている「ネットいじめ」について様々な観点で研究されている、佛教大学 教育学部 原清治 教授、兵庫県立大学 環境人間学部 竹内和雄 准教授にご講演いただく。なお、京都府教育委員会の講師の講演内容は、「ネットいじめ」に限らず「いじめ」全般を対象とする。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>インターネット上で起っている人権侵害、犯罪について実状を把握すると共に、様々な場面、立場で、ネット社会で身を守るために何ができるかを理解する。</p>
<p>講義スケジュール</p>	<p>第01回 序論：心を蝕むインターネット， ネット人権侵害の基礎知識（吉富康成）</p> <p>第02回 サイバー犯罪の現状について（京都府警察本部サイバー犯罪対策課）</p> <p>第03回 インターネットに関する消費者トラブルについて（京都府消費生活安全センター 三室久枝）</p> <p>第04回 いじめの現状と対策について（京都府教育委員会）</p> <p>第05回 スマホ時代に対応した生徒指導・教育相談（兵庫県立大学 竹内和雄）</p> <p>第06回 インターネットの仕組みと人権侵害（吉富康成）</p> <p>第07回 ネットいじめはなぜ「痛い」のか（佛教大学 原清治）</p> <p>第08回 ネットパトロールがとらえた SNS の危険性（吉富康成）</p> <p>第09回 ネット人権侵害， 法律と倫理（その1）（吉富康成）</p> <p>第10回 ネット人権侵害， 法律と倫理（その2）（吉富康成）</p> <p>第11回 ネット人権侵害， 法律と倫理（その3）（吉富康成）</p> <p>第12回 ネット社会での人権教育の現状と課題（吉富康成）</p>

	<p>第13回 ネットパトロール技術の現状と課題 (吉富康成)</p> <p>第14回 ネットヘイトスピーチの現状について (吉富康成)</p> <p>第15回 総括：ネット社会の道しるべ (吉富康成)</p>
教科書	<p>第01, 06, 08～14回</p> <p>吉富康成 編著「インターネットはなぜ人権侵害の温床になるのかーネットパトロールがとらえた SNS の危険性ー」, ミネルヴァ書房, 2014.</p>
参考書	<p>第05回</p> <p>竹内和雄, 「スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」, ほんの森出版, 2014.</p> <p>第07回</p> <p>原清治, 山内乾史 編著「ネットいじめはなぜ「痛い」のか」, ミネルヴァ書房, 2011.</p>
出願開始	自分が在籍する大学の指示にしてください
出願終了	自分が在籍する大学の指示にしてください
承認結果公開日	2015/04/17
受講形態 (京カレッジ)	科目等履修生